



2012年度 東北地理学会 秋季学術大会

(秋田地理学会と共催)

プログラム

1. 期 日 2012年10月13日(土)～14日(日)
2. 会 場 秋田大学教育文化学部3号館 (秋田市手形学園町1-1)

3. 日 程

10月13日(土)

第1会場	10:00- 自然	12:16- 昼休み	13:30- 自然		18:00- 懇親会
第2会場	09:30- 人文	12:26- 昼休み	13:30- 人文	14:26- 共通	

18:00- 懇親会

10月14日(日)

巡検 8:30～18:20 「能代平野の自然と地域産業」

4. 懇親会 日時 10月13日 18:00から
会場 第一会館本館(秋田市大町5丁目)
会費 4,000円(学生・院生 3,000円)

5. 巡 検 テーマ:「能代平野の自然と地域産業」

秋田大学(8:30)-JR秋田駅東口-角助堤(三種町森岳地区)-変動地形・広域テフラ・
ジュンサイ田(能代市逆川地区)-水田地帯の小丘(能代市河戸川地区)-変動地形・
ミョウガ畑・電子基準点(能代川右岸・台地)-〈昼食〉道の駅ポンポコ(12:30;八
峰町峰浜地区)-風の松原の偏形樹・ネギ畑(能代市海岸砂丘)-能代火力発電所・能
代港(能代市街地;16時には出発)-東能代駅-秋田空港(17:30)-JR秋田駅前(18:20)
(当日の交通状況等により、経路・地点の一部を省略・変更する場合があります)

案内者: 栗山知士(前男鹿工業高校), 上村康之(NPO 法人あきた市民政策支援ネット
ワーク), 後藤忠志(ノースアジア大学), 篠原秀一(秋田大学)

定 員: 20名(申込巡)

参加費：1,000 円

地形図：2万5千分の1地形図「森岳」「能代」「羽後水沢」

6. 交通

鉄 道：JR 東京駅より秋田新幹線（1時間1本の頻度）で4時間前後。秋田駅東口から北東側へ徒歩16分。

バ ス：東京・横浜より秋田駅前まで夜行高速バスあり。約9時間。秋田駅西口から秋田大学前バス停まで「④手形山病院線」又は「⑤檜山大回線」にて10分弱。秋田大学前バス停から徒歩1分。

航空機：東京（羽田）-秋田間9往復、要1時間。大阪（伊丹）-秋田間5往復、要1時間半。札幌-秋田間3往復、要1時間。名古屋（中部国際）-秋田間2往復、要1時間半。秋田空港から秋田駅前までリムジンバスが随時運行（秋田県庁が終点）要30分。

7. 宿泊

秋田市内のホテル等をご利用下さい。

第1会場 自然分野 10:00～12:16 13:30～14:18 発表+討論時間 S:12+8分、L:20+8分

- 1-01 10:00 Sp 佐藤李菜*（秋田大・学）・林武司（秋田大）：洪水ハザードマップの浸水想定に影響する地形情報の精度—秋田市茨島地区の事例—
- 1-02 10:20 Sp 北村繁（弘前学院大）：中米・エルサルバドル共和国，イロパングカルデラ3～5世紀噴火後のレンパ川下流域の地形発達
- 1-03 10:40 Sp 古田昇（徳島文理大）：臨海低地の地形環境と洪水氾濫—瀬戸内海東部を例に
- 1-04 11:00 Sp 伊藤晶文（山形大）：山形県庄内砂丘の砂丘砂の粒度組成—特に浮遊物質に着目して—
- 1-05 11:20 Lp 福岡義隆*（立正大）・丸本美紀（お茶の水女子大・院）・長谷川直子（お茶の水女子大）：屋久杉年輪で古都の気候を復元する試み
- 1-06 11:48 Lp 今野明咲香*（宮城教育大・院）・吉木岳哉（岩手県立大）：八幡平山系における約3,000年前以降のオオシラビソ林の拡大過程

<昼休み 12:16～13:30>

- 1-07 13:30 Lp 檜垣大助*（弘前大）・工藤香菜（仙台三高・生徒）・佐藤柚香（仙台三高・生徒）・寺島柚葉（仙台三高・生徒）・西澤硬（仙台三高・生徒）：白神山地で発生した寛政西津軽地震による地すべりと河道閉塞
- 1-08 13:58 Sp 阿子島功（福島大）：2011.3.11 東北地方太平洋沖地震による地盤災害(3)

第2会場 人文分野 09:30～12:26 13:30～14:26 発表+討論時間 S:12+8分、L:20+8分

- 2-01 09:30 Sp 石澤 孝 (信州大)・新藤哲平* (信州大・院) : 公営住宅の立地と展開 (予察) —長野市街地を例として—
- 2-02 09:50 Sp 市川 聖 (ノースアジア大学明桜高) : 中国寧夏回族自治区銀川市における実態調査—都市住民最低保障制度受給者を対象に—
- 2-03 10:10 Sp 庄子 元 (東北大・院) : 中山間地域等直接支払制度運用からみる集落の現状と課題
- 2-04 10:30 Sp 齋藤史子 (宮城教育大・院) : 地域農業振興における産地直売の役割と課題—西会津町を事例として—
- 2-05 10:50 Sp 佐々木達* (札幌学院大)・関根良平 (東北大)・蘇德斯琴 (内蒙古大)・小金澤孝昭 (宮城教育大)・庄子元 (東北大・院) : 中国内蒙古における牧畜業の新動向
- 2-06 11:10 Lp 末田智樹 (中部大) : 近世日本捕鯨業地域史研究の現状と課題—歴史地理学的手法による再構築—
- 2-07 11:38 Lp 高野岳彦 (東北学院大) : 三陸沿岸の漁業の特性把握—漁業センサスによる分析から—
- 2-08 12:06 Sp 小金澤孝昭* (宮城教育大)・庄子元 (東北大・院)・齋藤史子 (宮城教育大・院) : 水産業の復興と産業連関—気仙沼市を事例にして—
- <昼休み 12:26～13:30>
- 2-09 13:30 Lp 根田克彦 (奈良教育大) : ボストン市におけるメインストリートプログラム
- 2-10 13:58 Lp 杉浦直 (岩手大) : サンノゼ日本町における都市再開発の進展—ガバナンスの特質に目を向けて—

第2会場 共通分野 14:26～16:50 発表+討論時間 S:12+8分、L:20+8分

- 2-11 14:26 Sp 駒木野智寛 (東北大・院) : 岩手県沿岸部の古津波堆積層と出土遺物の検討
- 2-12 14:46 Lp 松山薫 (東北公益文科大) : 福島第一原子力発電所の立地経緯の歴史地理学的考察—軍用飛行場が原子力発電所になるまで—
- 2-13 15:14 Sp 山本健太* (九州国際大)・多田忠義 ((株) 農林中金総合研究所・明治大)・坂下幸嗣 ((株) 日立システムズ)・海老根優介 ((株) 日立公共システムエンジニアリング)・京極自源 ((株) 日立ソリューションズ) : 震災発生時における組織内情報拠点の成立と情報ネットワークの特性 : 東北大学地理学教室の事例から
- 2-14 15:34 Lp 山田浩久* (山形大)・川端不美二 (まっふ仙台 M96)・宮本景太郎 (まっふ仙台 M96) : 東日本大震災によって生じた土地評価の課題—宮城

県臨海市町村を対象にして—

- 2-15 16:02 Sp 増田 聡 (東北大) : 震災復興企業実態調査からみた東日本大震災の被災像
- 2-16 16:22 Lp 米地文夫 (ハーナムキヤ景観研究所) : 震災復興バスターライン構想としてのメルヘン街道創設<五城目—花巻—釜石・大槌を結ぶ地域連携軸について>

ポスター発表 (現地にて会場案内を掲示します)

p 3-01 太田達郎 : 長里・相対方位によって「三国志」の魏志倭人伝を読む